

課題共有ワーク 次のステップへ向けて 取り組みの短冊のまとめ

参加者の皆さんが、今後取り組んでいきたいことを短冊に書いていただいた内容です。行政⇔民間、個人⇔組織・コミュニティの視点で分類しました。

行政のアクション

組織・コミュニティ

個人

国交省さんの力で官民連携 市長にまちづくりの重要性
周辺自治体との連携 未来に向けた新しい都市計画を 構築がSDGsの鍵
都市防災事業と連携したまちづくり コンパクトシティプラスネットワークの推進
旧町で分けず財政に見合う物づくり まちづくり、ひとづくりまず庁舎（職場）から
期間延長 スピード 事業の見直し 組織再編 職員の育成が急務 人材育成
キリフダとなる解決策なし→他事例・新制度の情報収集 対応の幅をひろげていく
情報共有・発信 民間・住民との会話を多く 情報の使い方を工夫する
行政と民間（垣根をこえた）まちづくりの議論の場
民間ニーズを踏まえたソフト事業 民間の力を引き出せる環境整備
まちづくり 主役は民・行政は支援 横断的な人材
まちづくりの理念を全市民で共有・理解し、一丸となってすすめる

官民協働による魅力ある商業エリアの創造 住民にがんばってもらう
エリアマネジメントの視点が重要 ルール作りから民間参画を！！
地域が自立するためには、いろいろチャレンジが必要か！
町家再生・利活用 暮らしまちづくり基金 低未利用地の活用
低未利用地の活用 コモンズ協定
空き地の利用を地元に投げかねてみる 空き地・空き家のマッチングコーディネート
空き店舗の活用は所有者と利用者を仲介する 空き家所有者とプレイヤーの橋わたし
空き家にカフェを入れたいな 空き家など福祉活用 出来れば働く場所になるかな
社会実験の有効活用 公共空間 活用社会実験=プレイヤー呼
滞在時間を活用したにぎわい作り ストック まちあるき+イベント=プレイヤー呼
お金のまわる組織作り ボランティアじゃない お金なしでたのしむ

計画策定に際して事前準備を十分に
客観的データ分析の活用がイノベーションへの着火材
ありたい姿から問題解決を！！ 計画業務に取り組む
たくさんの意見を聞いて考える 意見をきく 現地をみる
共感の輪を広げる！！ 思ったことはやってみる
人間関係の構築 まねする 大きな視点で物事を考える
庁外でも活動をする 人と話す 人に聞く 知恵を出す

地区のリーダ-育成 まちづくり実践者の活用
まちなかにも担い手を育てたい まちづくりの民間プレイヤー

民間の関わり